

## 4 文化・科学技術・スポーツ

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02 総務費	02 企画費	02 計画調査費	507,911
一般	07 商工費	02 工鉱業費	01 工鉱業総務費	※ 868
一般	07 商工費	02 工鉱業費	02 中小企業振興費	1,430,579
一般	07 商工費	02 工鉱業費	05 工業技術センター費	277,577
一般	07 商工費	03 観光費	01 観光費	※ 1,120,062
一般	08 土木費	04 港湾費	02 港湾建設費	※ 2,697,377
一般	08 土木費	05 都市計画費	03 公園費	※ 546,882
一般	10 教育費	06 社会教育費	03 文化及び文化財費	513,938
一般	10 教育費	06 社会教育費	04 文化の森総合公園文化施設費	673,755
一般	10 教育費	06 社会教育費	06 郷土文化会館運営費	160,024
一般	10 教育費	06 社会教育費	08 文学書道館運営費	177,160
一般	10 教育費	07 保健体育費	02 体育振興費	593,347

### 1 文化の振興

#### 1 芸術文化活動の充実（とくしま文化振興課，教育文化政策課，文化の森振興総局）

##### 1(1) 文化・芸術活動の創造・発表・鑑賞機会の充実

###### ア 芸術文化鑑賞機会の充実

とくしまきり芸術文化事業や文化庁事業の実施，クラシックコンサートの開催等により，県民が優れた芸術文化に触れる機会の充実を図った。

- 徳島県こども芸術劇場・児童劇巡回公演 4公演
- 本物の舞台芸術体験事業 23公演
- クラシック音楽演奏会 3公演

###### イ 徳島県民文化祭事業

国民文化祭の成果を継承，発展させるためリニューアルした徳島県民文化祭を継続して開催し，83事業を実施した。

###### ウ 地域の文化振興事業の推進

県内の芸術文化団体等と連携を密にして、学校への芸術家派遣事業などで活用を図った。

エ 顕彰制度の充実

- 県文化賞の贈呈 受賞者 上崎暮潮氏
- 阿波文化創造賞の贈呈 受賞者 中内正子氏

1(2) 文化施設の整備充実

ア あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の充実

人形浄瑠璃フェスティバル等の文化事業を実施するとともに、ホールや展示室等を県民の利用に供した。また、県民が快適に安心して利用できる施設に改修するため、音響設備、自家用発電装置等の更新工事の設計を行った。

- あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）利用者数 340,962 人

イ 文学書道館の充実

文学及び書道の特別展や教育普及事業等を実施するとともに、展示室や講座室等を県民の利用に供した。また、文学書道資料の調査研究、収集・整理に取り組んだ。

- 文学書道館利用者数 47,240 人

ウ 阿波十郎兵衛屋敷の充実

阿波人形浄瑠璃振興の中核施設として、定期上演等を行うとともに、展示室や母屋等を県民の利用に供した。

- 阿波十郎兵衛屋敷利用者数 30,466 人

1(3) 文化情報の提供手段の充実

ア 文化情報ネットワークの推進

文化の森各館所蔵資料データベースの充実、データベースの利用普及、各種文化情報の提供等を行った。

データベースの入力状況（平成 22 年 3 月末日現在）

データベースの種類	入力件数（件）
書誌データベース	1,315,896
博物館データベース	319,653
美術館データベース	59,685
文書館データベース	95,749
AVライブラリーデータベース	2,416
計	1,793,399

1(4) 図書館サービスの充実

ア とくしまネットワーク図書館の構築

県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」のあり方について市町村と協議の場を持ち、検討した。その結果を基に、電算システムの開発に着手した。

2 徳島の文化の担い手づくりの推進（とくしま文化振興課）

## 2(1) 文化団体の育成, 指導者の養成

「第 22 回国民文化祭・とくしま 2007」の成果を継承・発展させるために文化活動を行う市町村, 文化団体等に対して助成した。

- 国文祭成果継承事業 25 件 12,620 千円
- 次世代・後継者育成事業 2 件 1,120 千円

## 2(2) 文化の担い手の養成

演奏会の出演者等に講師を依頼し実技指導の場を設けるなど, 文化の担い手の養成を図った。

## 3 文化を育む環境づくりの推進 (とくしま文化振興課)

### 3(1) 創造環境の充実整備

#### ア (財) 徳島県文化振興財団の機能充実

県民の幅広い文化活動を支援し, 新しい県民文化の創造と発展に寄与するため, 財団法人徳島県文化振興財団の充実を図った。平成 21 年度事業として, 自主事業 1 件, 共催事業 2 件, 補助事業 10 件を行った。

#### イ 「あわ文化」の創造と発信

「第 22 回国民文化祭・とくしま 2007」の成果を継承・発展させるために立ち上げた「文化立県ととくしま推進会議」において, 徳島ならではの文化の魅力を全国に発信する事業の第二弾として, 平成 21 年 10 月 3 日から 11 月 3 日の間「阿波人形浄瑠璃月間〜ジョールリ 1 0 0 公演〜」を開催し, 本県のイメージアップや交流人口の増加につなげた。

## 4 学校における文化・芸術活動の推進 (教育文化政策課)

### 4(1) 学校における文化活動の振興

ア 県高等学校文化連盟へ活動費補助金の交付, 県美術展へ県教育長賞の授与

### 4(2) 全国高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第 33 回全国高等学校総合文化祭 (三重大会) への派遣

7 月 29 日から 8 月 2 日までの 5 日間, 開催地三重県へ 16 部門 20 校生徒 148 名を派遣した。

### 4(3) 近畿高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第 29 回近畿高等学校総合文化祭 (京都大会) への派遣

11 月 14 日から 11 月 23 日までの 10 日間, 開催地京都府へ 17 部門 23 校生徒 367 名を派遣した。

## 5 文化の森総合公園の整備・充実 (文化の森振興総局)

### 5(1) 積極的な資料収集と魅力ある常設展示や企画展の開催などを通じた普及・文化活動の充実

各文化施設の維持管理，運営に努めるとともに，美術品等の取得を行い資料の充実を図った。  
また，各館において，様々な企画事業を開催するとともに，各種普及事業を実施し，県民文化の振興に努めた。

○ 文化の森総合公園入館者数

施設 年度	図書館	博物館	近代 美術館	文書館	21世紀館	合 計
平成 21 年度	人 529,592	人 131,776	人 128,235	人 25,851	人 91,008	人 837,371

(注)「合計」は，共催等による重複調整を行っているため，各館の合計とは一致しない。

5(2) 県立近代美術館サテライト・ギャラリー事業

県庁 11 階の「県庁ギャラリー」，県庁 1 階の県民センター，県立三病院及び西部総合県民局（美馬庁舎）にサテライト・ギャラリーを設け，県民の憩い・癒しの場を形成することで地域活性化に努めた。

2 歴史・文化の継承と活用

1 文化財調査の促進（教育文化政策課）

1(1) 徳島県中世城館跡総合調査事業

県内に所在する中世城館跡について，遺構・文献等の詳細調査を行った。

1(2) 埋蔵文化財の所在調査

ア 発掘調査

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財の発掘調査など 8 遺跡（（財）徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

イ 出土品整理

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財出土資料整理など 4 遺跡（（財）徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

1(3) 天然記念物の調査

カモシカ通常調査 県内 8 市町（旧 12 町村域）における，生息環境，生息状況及び食害調査等の実施

2 文化財の保護管理（教育文化政策課）

2(1) 文化財の指定

- ア 徳島県文化財保護審議会の運営
- イ 文化財の指定等

種別	名称	員数	所在地	所有者又は所持者及び管理者	指定又は登録年月日
有形文化財 (考古資料)	観音寺・敷地遺跡 木簡と官衙関連出土品	一括 (500点)	板野郡板野町犬伏 字平山86番2	徳島県 徳島県立埋蔵文化財 総合センター	平成 22.2.18
無形民俗文化財	宅宮神社の神踊り	—	徳島市上八万町上 中筋558番地	宅宮神社の神踊り保 存会	平成 22.2.18

## 2(2) 指定文化財管理

- ア 文化財パトロール事業の実施  
文化財巡視員（非常勤特別職）による指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の点検を行った。
- イ 指定文化財の小修理，環境整備事業の実施
- ウ 指定文化財の防災設備等の保守点検の実施

## 3 文化財の保存整備活用（教育文化政策課）

### 3(1) 文化財の保存整備活用

- ア 重要文化財等の保存修理
  - (ア) 国選定「美馬市脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施
  - (イ) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業の実施
- イ 史跡の整備活用
  - (ア) 国指定史跡「阿波国分尼寺跡」保存整備事業の実施
  - (イ) 国指定史跡「郡里廃寺跡」保存整備事業の実施
  - (ウ) 室町ロマン守護町勝瑞総合支援事業の実施
    - ・ 守護町勝瑞遺跡発掘調査支援事業の実施
    - ・ 勝瑞城館跡史跡整備事業の実施
    - ・ 守護町検証会議の開催
    - ・ 勝瑞学アカデミーの開催
      - 平成 21 年 6 月 20 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 109 名
      - 平成 21 年 8 月 8 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 107 名
      - 平成 21 年 11 月 28 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 109 名
  - (エ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」公有地化支援事業の実施
  - (オ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」整備事業の実施
- ウ 文化的景観保護推進事業の実施  
美馬市において実施する「舞中島文化的景観保存対策調査事業」について，文化的景観を構成する要素の基礎調査および成果報告会・講演会の開催を支援した。
- エ 無形民俗文化財の保存伝承

(7) 民俗文化財周知活用事業の実施

「発見！ふるさとの伝統文化」を開催し、伝統文化を広く県民に周知するとともに、保存活動の活性化を図るため、保存団体と協働して講演会・体験教室・現地講座等を実施した。

(イ) 第51回中国・四国ブロック民俗芸能大会出演者派遣事業

期 日 平成21年11月8日

場 所 愛媛県松山市 ひめぎんホール

出演団体 中国・四国ブロックの8県からは各1団体、愛媛県からは2団体の計10団体が出演した。

本県出演団体 牟岐町 音頭会（牟岐音頭）

3(2) 文化財情報の発信

ア 文化財PR資料の作成

(7) 「2009発掘とくしま」パンフレットの刊行

(イ) 文化財保護強調ポスターの印刷，配付

イ 展示会開催等

(7) 「2009発掘とくしま」の開催

○ 速報展 平成21年6月16日～7月26日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

○ 遺跡発掘体験見学会 平成21年7月21日～7月24日（宮ノ本遺跡）

○ 展示解説・調査成果報告会 平成21年7月5日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

○ 講演会 7月12日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

○ 古代体験会 6月21日，7月19日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(イ) アワコウコ楽総合講座の実施

○ 講座 8月30日，9月6日

○ 体験（マイスター） 7月26日，7月28日，8月5日，8月19日，8月23日

(ウ) 徳島県文化財マイスター養成講座記念シンポジウム

○ 平成22年3月6日（徳島県立総合教育センター）

4 文化財の愛護思想の高揚（教育文化政策課）

4(1) 文化財の人材育成

ア 養成講座・研修会等の実施

(7) 文化財指導者講習会の開催

平成22年2月10日，文化財関係者120名の参加を得て実施

(イ) 市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会の開催

平成21年12月4日，平成22年3月26日開催

(ウ) アワコウコ楽サポーター養成講座の実施

平成21年7月11日，8月22日，9月27日，10月31日の4回実施

(エ) アワコウコ楽スクールリーダー養成講座の実施

平成21年7月30日，8月6日，8月18日，10月3日，11月18日の5回実施

(オ) 文化財マイスター養成講座の実施（県内建築士対象）

平成21年7月25日～平成22年3月6日に15回実施 40名が修了

#### 4(2) 郷土文化教育の推進

##### ア 郷土文化教育教材の整備

###### (ア) 郷土文化教育教材整備事業の実施

「ゲンちゃんと学ぼう徳島の歴史舞台」の作成

##### イ 埋蔵文化財を活用した学校教育の支援

校外行事等による徳島県立埋蔵文化財総合センターの活用について積極的な支援を行った。

### 5 歴史・文化の情報収集（文化の森振興総局）

#### 5(1) 本県の歴史・文化に関する情報、資料の収集

県立文書館において、歴史的文化的価値を有する資料の積極的な収集を行った。

## 3 科学技術の振興

### 1 科学技術を担う人づくり（新産業戦略課、にぎわいづくり課）

#### 1(1) 表彰制度等を通じた人材の育成・確保

本県の科学技術を支える優れた人材の育成・確保を図るため、国の表彰制度を活用し、技術者等の科学技術振興に対する意識の高揚と意欲の増進を図った。

#### 1(2) あすたむらんど（子ども科学館）の管理運営

未来を担う子ども達が、遊びや体験を通じて科学する心や姿勢を培い、豊かな心を育てるあすたむらんど（子ども科学館）の適正な管理運営を行うとともに、企画展など様々な事業を実施し、創造性豊かな青少年の育成に貢献した。

### 2 研究開発基盤の充実（新産業戦略課）

#### 2(1) 技術シーズ開花事業

県内企業の新製品、新技術の開発促進を図るため、提案公募型研究開発事業実施のために必要なデータ収集等のための予備的研究4件を地域の産学官が連携し実施した。（10,610千円）

## 4 スポーツ・レクリエーションの振興

### 1 生涯スポーツ活動の推進（県民スポーツ課）

#### 1(1) 徳島型豊かなスポーツライフ推進事業

市町村等が行う総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の創設・運営を多面的に支援し、本県における生涯スポーツ推進を図るため、各総合型クラブの中核となる人材

育成や普及啓発活動を実施した。

平成 21 年度までに 28 クラブが設立され、4 クラブが創設に向けて取り組んでいる。

事業内容	実績
有資格者の派遣	総合型クラブ未育成町等：15 回 育成指導・クラブ巡回：81 回
総合型クラブ連絡協議会の整備	会議：4 回 参加人員：67 名 交流大会：2 回 参加者数：261 名
クラブマネージャー養成講習会	回数：5 回 受講対象者数：20 名 修了者数：13 名
コーディネート講習会	回数：1 回 参加者数：59 名
ゾーンサポート	実施校：8 校 事業実施回数：34 回
情報提供・啓発	ホームページアクセス：126,513 件 啓発パンフ配布：5,000 部 啓発ブース設置：3 カ所

### 1(2) スポーツ夢タウンづくり支援事業

地域に密着したスポーツ振興を展開するため、地域における拠点づくり支援事業として、社会貢献活動団体（NPO 法人）や総合型地域スポーツクラブより提案された事業に対し助成を行った。

団体名	期 日	会 場	事業内容	参加人数
特定非営利活動法人あいずみスポーツクラブ 他 11 事業	4 月～3 月	藍住町 他	メタボ解消のきっかけとなるポピュレーションアプローチ 他	12 事業 延べ 8,816 名

### 1(3) とくしまスポーツ SHOWデー事業

スポーツを「する」「見る」「支える」といった新たなスポーツ振興の仕組みを創るため、県民スポンサー事業として、企業及び団体からの協賛金により、スポーツイベントや地域密着型プロスポーツの応援企画への助成、情報発信などを行った。

事業名	期 日	内 容	参加人数等
とくとくスポーツイベント助成事業	4 月～3 月	18 件のスポーツイベントに助成を行った。	6,097 名
スポーツ応援イベント助成事業	4 月～3 月	2 件の応援企画に助成を行った。	3,030 名
スポーツの魅力発信事業	12 月～1 月	小・中学生が描いたスポーツ絵画コンクールを開催した。	応募総数 125 点
スポーツ SHOWデー応援団事業	4 月～3 月	スポーツ大会に出場する選手やチームに横断幕・メガホン・幟の貸出しを行った。	53 件

(次のページに続く)

(前のページの続き)

ファミスポSHOWカーニバルの開催	11月～3月	海陽町(11/1),三好市(11/1),鳴門市(3/6)において,家族が参加できるスポーツイベントを開催した。	延べ2,600名
スポーツステーションサイトの運営	4月～3月	「とくしまスポーツSHOWデー・ステーションサイト」を運営した。	総アクセス数 646,931件

## 2 指導者の養成と活用 (県民スポーツ課, 体育健康課)

### 2(1) こどもの夢はぐくみ事業

子ども達のスポーツへの関心を高め, 将来へのスポーツ振興につなげる動機づけとするため, 子どもやその保護者・指導者を対象とした有名スポーツ選手等によるスポーツ講習会を実施した。

講習会名	期日	会場	人数	内容
プロ野球選手によるベースボール塾	12月28日	鳴門市	580名	川上憲伸選手ら現役プロ野球選手等による野球講習会

### 2(2) 多様なスポーツニーズに対応した指導者の養成及び派遣

#### ア スポーツ少年団リーダーの育成

事業名	期日	会場	人数	内容
第36回日独スポーツ少年団同時交流	H21.7.20～8.11	ドイツ	3名	スポーツによる国際交流, リーダー派遣・受け入れ
	H21.8.6～8.10	県内	12名	

#### イ 市町村生涯スポーツ推進担当者の養成

事業名	期日	会場	人数	内容
水泳指導者講習会	H 21.6.9～6.10	徳島市	38名	水泳(講義・実技)
徳島県ダンス講習会	H 21.8.7	徳島市	86名	ダンス(実技)

#### ウ 派遣社会教育主事(スポーツ担当)の配置

2名を勝浦町, 上板町に派遣し, 地域スポーツの振興に努めた。

### 2(3) 地域スポーツクラブフィットネス事業

#### ア みんなでつくろう! 県民会議「運動と健康づくり専門部会」の設置

運動や身体活動を活用した健康づくりについて協議した。

平成21年6月12日・7月6日・平成22年3月24日

#### イ モデル事業(健康づくり実践プログラム)の実施

メタボリックシンドロームや生活習慣病を有する方, またはその予備群を主たる対象者とし,

減量を目標とした5カ月間の健康づくり実践プログラムを作成し、総合型地域スポーツクラブで実践した。

構成：講義，運動実習，話し合い，計測で構成

実施期間：平成21年10月中旬～平成22年3月上旬までの約5カ月間

コース：Aコース 週1回 全20回コース

Bコース 月1回程度 全7回コース ※コースは、参加者の選択制

実施クラブ	所在地	実施会場	参加者数
いけだスポーツクラブ	三好市池田町	池田総合体育館	35名
K-Friends	勝浦郡勝浦町	勝浦町民体育館他	53名
上板ふれあいクラブ	板野郡上板町	上板町農村環境改善センター他	44名

ウ 「健康づくりのための運動指導」研修会の開催

地域住民が運動を通じた健康づくりに取り組めるよう、総合型地域スポーツクラブスタッフ等の資質の向上を図った。

健康づくり運動の基礎理論（講義1時間30分，実習1時間）

区分	日時	場所	参加者数
県央	平成22年1月15日	アミノバリューホール	33名
県南	平成22年1月19日	那賀川スポーツセンター	20名
県西	平成22年1月21日	うだつアリーナ	30名

エ 健康運動指導士の養成

総合型クラブに所属するスタッフに対して、財団法人健康・体力づくり事業財団が開催する健康運動指導士養成講習会及び健康運動指導士認定試験を受講するための経費について補助決定した。

受講決定者 1名（不合格）

### 3 施設・設備の整備拡充（都市計画課，港湾空港課）

#### 3(1) 公園整備事業費

ア 南部健康運動公園

平成21年10月に，テニスコート（4面）を供用した。

イ 蔵本公園

園路等のユニバーサルデザイン改修を実施した。

#### 3(2) 橘港公共用地レクリエーション施設用地の整備

土地造成の進捗を図った。

### 4 競技力の向上（県民スポーツ課，体育健康課）

#### 4(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力の維持向上に努めるとともに，広く県民にスポーツに対する関心を定着させ，将来にわたって本県スポーツの充実発展を期するため次の事業を実施した。

#### ア 競技スポーツ重点強化対策事業

成果指向型の重点強化をより進めるため、過去2年間の国体入賞と昨年度の国体ベスト16以上の成績を収めた競技団体を対象とした「国体重点強化枠」と、四国ブロックを突破した競技団体を対象とした「直前強化枠」を設け強化を行った。

#### イ 競技力向上スポーツ指定校事業

優秀選手の集中を進め、指導者の適正配置を行うとともに、遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより、インターハイや国体等の全国大会での活躍が期待できる高校運動部を指定した。

#### ウ 競技力向上高校生競技者支援事業

競技力向上スポーツ指定校に、指定校以外の高校に在学する優秀競技者を加えて、県外の強豪チーム等への遠征を実施した。

#### エ スポーツ医科学推進事業

国体選手にメディカルチェックやフィジカルチェックを実施し、また、チームにトレーナーや栄養士の指導スタッフを派遣して栄養面・フィジカル面の改善指導や、競技会に帯同してのコンディショニング管理を行った。

### 4(2) 国民体育大会派遣事業

大会名	会場	競技	役員	監督等	選手	計(人)
第64回大会	新潟県	陸上他 31	30	40	271	341
第65回冬季大会	北海道	スキー他 1	7	4	17	28
第30回四国ブロック大会	徳島県	サッカー他 34	14	64	669	747
合計			51	108	957	1,116

### 4(3) 徳島育ち競技力向上プロジェクト

県出身の競技者が全国大会や国際大会で活躍できるよう、ジュニア期から優れた素質を有する競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる「一貫指導システムの構築」と「トップ指導者の養成」を継続的に行い、県内の競技レベルの向上とスポーツ振興を図るため競技団体より提案された事業に対し助成を行った。

団体名	期日	会場	事業内容
(社)徳島県 サッカー協会 他 20 団体	6月～3月	徳島市 鳴門市 他 板野町	一貫指導推進委員会の設置 育成プログラムの作成と実施 強化練習会、指導者講習会、遠征・合宿等

## 5 学校スポーツ活動の活性化（体育健康課）

### 5(1) 地域スポーツ人材の活用実践支援事業

#### ア 外部指導者の活用

小学校の体育授業及び中・高等学校の運動部活動の活性化を図るため、175人（小学校10校19人，中学校43校106人，高等学校31校50人）の外部指導者を派遣するとともに，外部指導者及び運動部活動顧問に対する研修会を開催した。

#### 5(2) 子どもの体力向上指導者養成研修事業

子どもの体力を高めるための学習指導の在り方等について，指導者としての必要な知識や技術の習得を図るために研修会を開催した。

（4日間 17県参加 受講者 小・中・高等学校248名）

ア 全体会 学習指導要領の改訂と今後の学習指導の在り方

イ 班別学習

- ・研究協議「体力向上に向けた取組の工夫について」
- ・演習，協議「学習指導の在り方について」

### 6 プロスポーツによるにぎわいの創出（にぎわいづくり課）

#### 6(1) エンジョイ☆プロスポーツ事業

プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し，本県のPRやスポーツ文化の振興等，本県のにぎわい創出につながる施策を実施した。